

機関番号：14401

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2010

課題番号：20310147

研究課題名（和文） 現代「中国」の社会変容と東アジアの新環境

研究課題名（英文） Social Changes of Contemporary “China” and New International Environment of East Asia

研究代表者

田中 仁 (TANAKA HITOSHI)

大阪大学・法学研究科・教授

研究者番号：60171790

研究成果の概要（和文）：(1)統合後の大阪大学における現代中国研究の部局横断的プラットフォームとして、中国文化フォーラムを改組した。(2)中国南開大学・台湾東華大学との研究セミナーの共同開催をふまえて、東アジア学校間交流の定例化をめざした。(3)『大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー』を刊行した。(4)本研究の成果を、時間軸・社会空間軸・日中関係軸の三部構成とし、各部で歴史学と諸ディシプリンとの対話を提示する『共進化する現代中国研究』としてとりまとめた。

研究成果の概要（英文）：(1) This research project has created Osaka University Forum on China, an inter-departmental organization. (2) This project aimed to have research joint seminars with universities in East Asia on regular bases after this project held joint seminars with Nankai University (People's Republic of China) and National Dong Hwa University (Taiwan). (3) This project has published Discussion Papers in Contemporary China Studies. (4) The outcome of this project is a book, *Contemporary China Studies in Co-evolution*, the multi-disciplinary synthesis of time, space, and Sino-Japanese relations.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	6,100,000	1,830,000	7,930,000
2009年度	4,700,000	1,410,000	6,110,000
2010年度	3,500,000	1,050,000	4,550,000
総計	14,300,000	4,290,000	18,590,000

研究分野：複合新領域

科研費の分科・細目：地域研究・地域研究

キーワード：地域研究、東アジア、学校間交流、日中関係、国際秩序、プラットフォーム、国際研究者交流、中国：台湾

1. 研究開始当初の背景

(1) 旧大阪外国語大学（2007年10月大阪大学に統合）の高度な言語教育およびその対象言語圏の文化に関する地域研究の成果は、社会的に評価され公認されているわが国の知的資産の一部であり、中国地域研究はその代

表的分野である。本研究は、この資産を継承して統合後の大阪大学の新たな環境のなかに定置することによって、大阪大学を東アジア地域における中国地域研究の拠点形成を構想した。

(2) 1997年に発足した旧大阪外国語大学言語

社会研究科（博士課程）では、中国「文化」（歴史・政治経済）を専攻する12人がPhDを取得した。大阪外国語大学中国文化フォーラムは、①大学院生・若手研究者による研究セミナー「中国文化コロキウム」の開催、②西村成雄・田中仁編（2008、2009）、西村成雄・許衛東編（2009）など共同研究の成果公刊、③内モンゴル大学や天津・南開大学での国際セミナー開催（2004、2008）などの活動を行ってきた。

2. 研究の目的

(1) 本研究は、中国台頭に伴う21世紀の東アジア（東南アジアを含む）の国際環境変動に対応した新しい中国地域研究の可能性を追求することによって、日本における中国地域研究の基盤拡大と課題解決のための有効な処方提示をすることを目的とする。

(2) 「中国」地域理解をめぐる五層——国民国家内地域社会、国民国家、サブ・リージョン、国民国家結合（リージョン）、グローバル——の水平的垂直的編成の構図と捉えたうえで、中国地域研究に関わるこれまでの知見に新たな内実を付与することをめざす。

(3) 日本における中国地域研究の成果を国際的に発信することによって、中国・台湾の研究者との新たな知的連鎖を形成する。すでに形成してきた成果を十分生かすなかで、東アジアにおける新たな中国地域研究プラットフォームの構築を具体化する。

3. 研究の方法

(1) 大阪外国語大学中国文化フォーラムを大阪大学中国文化フォーラムに改組・再編する。

(2) 「中国」領域に関わる、歴史学、政治学、地理学、文学、人類学、および人間環境論、国際関係論、安全保障論など多様な研究領域の共同参画（コラボレーション）を提起し、学際的研究による地域研究の豊富な資産活用を最大限に図る。

(3) ディシプリンの異なる研究者による対話と啓発の場（プラットフォーム）の提供、大学院生・ポストドクターを本研究に積極的に参与させ次世代養成の課題に応えることをめざした日本・中国・台湾の双方向的関係を構築する。

(4) 大阪大学を東アジア地域における「知の共同体」の一環をなす現代中国地域研究の拠点として確立する。

4. 研究成果

(1) 中国文化フォーラムの改組

統合後の大阪大学における現代中国研究の部局横断的プラットフォームとして中国文化フォーラムに改組した (<http://www.law.osaka-u.ac.jp/~c-forum/>)。

(2) 東アジア学校間交流

①2008年8月、大阪大学中国文化フォーラムは、第二回「現代“中国”の社会変動と東アジアの新環境」国際シンポジウムを台湾・東華大学で開催した（南開大学歴史学院・東華大学歴史学系と共催）。

②2009年8月、大阪大学中国文化フォーラムは、第三回「現代“中国”の社会変動と東アジアの新環境」国際シンポジウムをJICA大阪で開催した（南開大学歴史学院・東華大学歴史学系と共催、JICA大阪後援）。

③三校による交流をさらに発展させるため、大阪でのシンポジウムに出席した内モンゴル大学・河北師範大学・台北大学の教員とともに「学術交流覚書」を作成した（2009年8月）。2010年2月、この東アジア学校間交流（国際シンポジウム）の定例化をめざして組織委員会を立ち上げた。

④2010年8月、大阪大学中国文化フォーラムは、第四回「現代中国と東アジアの新環境」国際シンポジウム（近代中国革命と社会変容・国際環境）を贛南師範学院（中国・江西省）で開催した（贛南師範学院、ならびに南開大学歴史学院・東華大学歴史学系などと共催）。21大学70余名が参加、日本側16報告をふくむ45報告を行なった。

(3) 『大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー』の刊行

①2008年12月に創刊、大阪大学中国文化フォーラムのホームページ (<http://www.law.osaka-u.ac.jp/~c-forum/>) で公開するとともに、大阪大学レポジトリ (<http://ir.library.osaka-u.ac.jp/portal/>) に登録した。

②本研究期間において合計37冊を刊行した（2008年度4冊、2009年度16冊、2010年度17冊）。

(4) 研究成果のとりまとめ

①第三回国際シンポジウム（2009年8月、大阪大学）の成果を中国語論文集『現代中国と東亜新格局・第1輯』（田中仁・江沛・許育銘主編）として中国で公刊することとし、収録する各論考44論文を確定するとともにその中国語訳を完了した。

②中国で公刊する論文集所収の44論文を素材として本研究の総括を行なった。すなわち、14篇の論考を「グローバル大国・中国を透視する」「周辺を見つめる」「日本の立ち位置を凝視する」の三部構成とし、同時に各部で歴史学と様々なディシプリンとの対話の構造を提示する『共進化する現代中国研究：中国地域研究の新たなプラットフォーム』（田中仁・三好恵真子編）としてとりまとめた。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計66件)

- ① 田中仁、日中戦争前期の華北農村與中国共産党：河北省涿源県の“800日”、第三屆近代中国與世界暨紀念近代史研究所成立六〇周年國際學術研討會論文集、査読無、2巻、(2010)、298-314
- ② 片山剛、擁有土地自然的重層結構：20世紀前期広東農村の単位地名及単宗農田的領域、日本当代中国研究(日本人間文化研究機構、早稲田大学現代中国研究所)、査読無、(2010)、60-81
- ③ 三好恵真子、集積する都市電子廃棄物による中国の環境問題とその対策：人間の安全保障とサステナビリティ学の実践的展開を目指して、New Food Industry、査読有、52-12、(2010)、53-61
- ④ 堤一昭、中国の自画像と日本の自画像：歴史の変遷の画期を求めて、大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー、2009-8、査読有、(2009)、1-11、大阪大学リポジトリ(<http://ir.library.osaka-u.ac.jp/portal/>)
- ⑤ 大谷順子(張玉梅訳)、從四川大地震透視現代中国、大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー、2009-6、査読有、(2009)、1-11、大阪大学リポジトリ(<http://ir.library.osaka-u.ac.jp/portal/>)
- ⑥ 青野繁治、欧米および日本のロックに見るチャイナインパクト、大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー、2009-5、査読有、(2009)、1-9、大阪大学リポジトリ(<http://ir.library.osaka-u.ac.jp/portal/>)
- ⑦ 宮原暁、ポスト・マルコス期のセブにおける中国人問題の新たな展開：1988年の市長選挙をめぐる、華僑華人研究、5、査読有、(2008)、144-168
- ⑧ YAMADA Yasuhiro, Changing Faces of East International Relations and the U.S.-China-Japan Triangular Relations, International Public Policy Studies, 13-1, 査読無, (2008), 179-188
- ⑨ 今泉秀人、ふたりの童養媳：沈從文『蕭蕭』の成就、野草、査読有、83、(2008)、34-53

〔学会発表〕(計66件)

- ① 木村自、旅緬雲南穆斯林在殖民・後殖民次期的歴史叙述與辺縁文化戦略、近代中国革命・社会転型與國際視野：第四屆現代中国與東亜格局國際學術研討會、2010.8.28、贛南師範学院(中国)
- ② 竹内俊隆、從日本看中国軍事崛起、近代中国革命・社会転型與國際視野：第四屆現代中国與東亜格局國際學術研討會、2010.8.27、贛南師範学院(中国)
- ③ 高橋慶吉、占領期米国の日本復興政策と日

本、近代中国革命・社会転型與國際視野：第四屆現代中国與東亜格局國際學術研討會、2010.8.27、贛南師範学院(中国)

- ④ 秋田茂、1930-1950年代アジア國際經濟秩序とイギリス帝国・スターリング圏、現代「中国」の社会変容と東アジアの新環境：第三屆國際シンポジウム、2009.8.25、大阪大学
- ⑤ 許衛東、日本經濟的転型與対中投資、第二屆現代中国社会變動與東亜新格局國際學術討論會、2008.8.27、東華大学(台湾)

〔図書〕(計15件)

- ① 贛南師範学院、贛南師範学院、近代中国革命・社会転型與國際視野：第四屆現代中国與東亜格局國際學術研討會論文集、(2010)、595
- ② 田中仁・宮原暁編、大阪大学中国文化フォーラム・大阪大学グローバルコラボレーションセンター、現代「中国」の社会変容と東アジアの新環境：第三屆國際シンポジウム論文集、(2009)、387
- ③ 東華大学歴史学系・日本大阪大学中国文化論壇・南開大学歴史学院、東華大学歴史学系、第二屆現代中国社会變動與東亜新格局國際學術討論會：會議手冊&論文集、(2008)、522

〔その他〕

ホームページ等

<http://www.law.osaka-u.ac.jp/~c-forum/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

田中 仁 (TANAKA HITOSHI)
大阪大学・法学研究科・教授
研究者番号：60171790

(2) 研究分担者

許 衛東 (XU WEIDONG)
大阪大学・経済学研究科・准教授
研究者番号：10263344

宮原 暁 (MIYABARA GYO)
大阪大学・グローバルコラボレーションセンター・准教授
研究者番号：70294171

山田 康博 (YAMADA YASUHIRO)
大阪大学・国際公共政策研究科・准教授
研究者番号：70243277

堤 一昭 (TSUTSUMI KAZUAKI)
大阪大学・文学研究科・准教授
研究者番号：70283835

秋田 茂 (AKITA SHIGERU)
大阪大学・文学研究科・教授
研究者番号：10175789

青野 繁治 (AONO SHIGEHARU)
大阪大学・言語文化研究科・教授
研究者番号：00159302

片山 剛 (KATAYAMA TSUYOSHI)
大阪大学・文学研究科・教授
研究者番号：30145099

三好 恵真子 (MIYOSHI EMAKO)
大阪大学・人間科学研究科・准教授
研究者番号：60294170

今泉 秀人 (IMAIZUMI HIDETO)
大阪大学・世界言語研究センター・准教授
研究者番号：00263343
(2009 まで分担者として参画)

大谷 順子 (OHTANI JUNKO)
大阪大学・人間科学研究科・准教授
研究者番号：90403930
(2009 から分担者として参画)

竹内 俊隆 (TAKEUCHI TOSHITAKA)
大阪大学・国際公共政策研究科・教授
研究者番号：60206951
(2009 から分担者として参画)

高橋 慶吉 (TAKAHASHI KEIKICHI)
大阪大学・法学研究科・准教授
研究者番号：60456928
(2010 から分担者として参画)

木村 自 (KIMURA MIZUKA)
大阪大学・人間科学研究科・助教
研究者番号：10390717
(2010 から分担者として参画)

思 沁夫 (SI QINFU)
大阪大学・グローバルコラボレーションセンター・特任准教授
研究者番号：40452445
(2010 から分担者として参画)

(3) 連携研究者

西村 成雄 (NISHIMURA SHIGEO)
放送大学・教養学部・教授
研究者番号：60030160

丸田 孝志 (MARUTA TAKASHI)

広島大学・総合科学研究科・准教授
研究者番号：70299288
(2010 から連携研究者として参画)

(4) 研究協力者

江 沛 (JIANA PEI)
中国南開大学・歴史学院・教授

許 育銘 (HSU YU-MING)
台湾東華大学・歴史学系・副教授

周 太平 (ZHOU TAIPING)
中国内モンゴル大学・蒙古学院・教授
(2009 から研究協力者として参画)

李 朝津 (LEE CHIU-CHUN)
台湾台北大学・歴史学系・副教授
(2009 から研究協力者として参画)